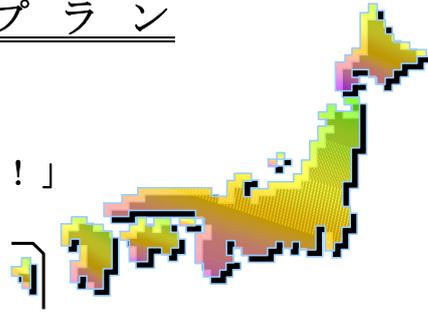


レ ス ス ン プ ラ ン

5 学年 第 2 回 (自己理解②)

テーマ : 「ニッポン、ここが分からない！」



授業の目標:

- (1) 日本や日本社会について考える
- (2) 文化的な差異について考えてみる

用意するもの :

ALT

担当教師

- “Gaijin” の漫画を大きくコピーしたもの
- 外国の文化・習慣 ○ × クイズの質問・得点表・サインペン

- 担当教員は子どもたち 4 ~ 5 人のグループをすぐに構成できるように

| 時間 | 活 動 | 気づいた点 |
|-----|---|-------|
| 2分 | ALTと担当教師 は挨拶し、 担当教師 は「今日は自分の国について考え、日本と世界の国々の文化的な違いについて知ってみよう」と本時の目的を伝える。 | |
| 20分 | 担当教師 は子どもたちを 4 ~ 5 人のグループに分け、各グループに 1 枚ずつ「ガイジン」マンガを配る。 ALT は、ある外国人からみた日本や日本社会について、そのマンガは何を表しているかを考えてみるよう子どもたちに伝える。子どもたちは、それについて自分たちの考えを書くよう紙が配られ、10分間与えられる。その後でグループ毎自分たちの考えをクラス全体に伝える。 ALTと担当教師 は子どもたちの考えに対して適宜コメントし、その後 ALT はマンガの本当の意味を明らかにする。 | |
| 5分 | ALT は、日本に初めて来た時に感じた驚いたことや困ったことについて話す(例えば、電話の時でも相手に向かってお辞儀するような習慣について)。 | |
| 15分 | ALT は、「○×クイズ」の回答用紙を各グループに配る。 ALTと担当教師 は交代でクイズを読み、子どもたちは他国の文化に関する文章を聞きそれが正しいかそうではないかを当てる。 | |
| 3分 | 担当教師 は、子どもたちに自分たちの国について誇りを持つことの大切さを説き、同時に、外国人から見て日本文化のある面に対して不思議に感じる部分があることを理解することも必要であることに気付かせる。同様に、「将来、外国を旅行する時に似たような戸惑いを感じるかもしれない、だからこそ、日本にいる外国人に対しても、思いやりと誠実な態度と気持ちを持って接するようにしたいですね。(等)」とまとめる。 | |